

評 価 証

第 2 1 0 0 1 号

【技術の名称】

岸壁・護岸耐震補強アンカー工法
(摩擦圧縮型・ナット定着グラウンドアンカーを用いた岸壁・護岸の耐震補強工法)

1. 依頼者
法人の名称 株式会社 エスイー
住 所 東京都新宿区西新宿 6 - 5 - 1
2. 評価の前提
本技術の適用にあたっては、依頼者が推奨する方法で設計・施工されることを前提とする。
3. 評価の範囲
評価の範囲は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発目標に対して、施工実績の結果等により確認できる範囲とする。詳細は港湾関連民間技術の確認審査・評価報告書第 2 1 0 0 1 号に示す。
4. 評価の結果
本技術は、開発の趣旨、開発の目標等に照らし評価を行った結果、以下のとおりであった。
 - (1) 重力式岸壁（ケーソン）および矢板式岸壁の地震時変位量を抑制する機能を有することが確認された。
 - (2) 地震による衝撃荷重や繰返し荷重に対して、アンカー頭部のナット定着構造およびアンカー体の摩擦圧縮型の構造により、機能を維持できることが確認された。
 - (3) 地震時に構造物や地盤の変位によってアンカーの緊張力が増減した場合でも、アンカー頭部のナットを回転させることにより、初期の緊張力に戻せることが確認された。
 - (4) アンカー材全長を防錆油とポリエチレン被覆による二重防食構造とすることにより、港湾・沿岸環境において確実な防食機能を確保できることが確認された。

一般財団法人沿岸技術研究センターが定める港湾関連民間技術の確認審査・評価に関する実施要領に基づき、上記の内容を確認した。

なお、評価証の有効期限は5年間とする。

平成 21 年 5 月 29 日 第08003号
平成 26 年 5 月 29 日 第1回目更新
平成 31 年 3 月 31 日 第2回目更新
令和 3 年 9 月 30 日 部分変更（第21001号）

一般財団法人 沿岸技術研究センター

代表理事・理事長 宮崎 祥一

